

坪刈り収量調査表（水稻）

圃場： _____ 品種： _____ 刈取り日： _____ 条間×株間（cm）： _____ 基準にする水分（％）： _____ 調査者： _____

調査箇所	刈取り株数	刈取り面積 (㎡)	粗玄米重（g）	ふるい目 (mm)	精玄米重（g）	玄米水分 (%)	水分換算後の精玄 米重（g）	10a当たり精玄米重 (kg)	屑米の割合 (%)	メモ

- 刈取り面積（㎡）＝刈取り株数×条間（m）×株間（m）。例 条間30cm・株間22cmなら50株で3.3㎡（1坪）です。
- 水分換算後の重さ＝精玄米重×（100－測った水分）÷（100－基準にする水分）。基準の水分は、比べる相手（地域の調査・前年の記録）とそろえます。
- 10a当たり精玄米重（kg）＝水分換算後の精玄米重（g）÷刈取り面積（㎡）。g/㎡の数字がそのまま kg/10a になります。
- 坪刈りの結果は、実際にコンバインで収穫した量（実収）より多めに出ることがあります。記入例の数値は架空のものです。

収量構成要素の調査（代表株）

圃場： _____ 品種： _____ 調査日： _____ m²当たり株数： _____

株No.	穂数（本/株）	全籾数（粒）	1穂籾数（粒）	屑米・不稔の数（粒）	登熟歩合（％）	千粒重（g）	m ² 当たり穂数	m ² 当たり籾数（百粒）	メモ
例 1	22	1,870	85	224	88.0	22.5	333	283	平均穂数に近い株を選ぶ

- 1穂籾数＝全籾数÷穂数。登熟歩合（％）＝（全籾数－屑米・不稔の数）÷全籾数×100。
- 収量の目安（g/m²）＝m²当たり籾数×登熟歩合×千粒重÷1000。坪刈りの結果と比べると、どの要素が収量を左右したかがわかります。
- 代表株は、平均的な穂数の株を根ごと抜き取り、乾かしてから調べます。